

## <IPA 情報発信第 150 号の内容>

### I. 今月のトピックス

#### 1. 新国家資格「情報処理安全確保支援士」の登録申請受付を開始

本年 4 月の「情報処理の促進に関する法律」の改正により創設された「情報処理安全確保支援士」制度の試験事務、登録事務を行うこととなり、10 月 24 日 (月) から登録申請の受付を開始しました。

#### 2. 「CEATEC JAPAN 2016」へ出展

10 月 4 日 (火) から 10 月 7 日 (金) まで幕張メッセ (千葉県千葉市) で開催された「CEATEC JAPAN 2016」に出展しました。IPA 展示ブースおよび講演には、4 日間で約 6,000 名の方にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。

#### 3. 「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017」および「業種編 3 種 (金融・保険業、情報通信業、製造業)」を公開

10 月 12 日 (水) に、ソフトウェア開発に関するプロジェクトデータを収集・分析した「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017」の最新版を公開しました。さらに今回は、「金融・保険業」「情報通信業」「製造業」の 3 業種に特化した「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017 業種編」も同時公開しました。

### II. 情報セキュリティ

1. 脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」の登録状況
2. ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況
3. コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況
4. サイバー情報共有イニシアティブ (J-CSIP) 運用状況
5. サイバーレスキュー隊 (J-CRAT) 活動状況
6. 重要なセキュリティ情報 (10 月)

### III. ソフトウェア高信頼化

1. SEC 特別セミナー「IoT 時代に向けたシステム開発における課題と備え ～システムズエンジニアリングのベストプラクティス事例～」を開催
2. 【改訂版】「組込みソフトウェア開発向けコーディング作法ガイド ESCR [C++言語版] Ver. 2.0」を公開
3. 「組込みシステムシンポジウム 2016 (ESS2016)」に出展
4. 「FROM 沖縄セミナー『IoT セキュリティの最新動向とビジネスチャンス』」にて講演
5. 「第 3 回 CCDS 検証技術セミナー」にて講演
6. 「JISA Digital Masters Forum 2016」にて講演
7. SEC セミナー開催報告 (10 月) および開催案内 (11 月)

### IV. IT 人材の育成

1. 「ITpro EXPO 2016」への出展
2. 平成 28 年度秋期「情報処理技術者試験」を実施

## I. 今月のトピックス

### 1. 新国家資格「情報処理安全確保支援士」の登録申請受付を開始

(担当理事(本部長): 川浦、担当センター長: 秋元)

IPAは、本年4月の「情報処理の促進に関する法律」の改正により創設された「情報処理安全確保支援士」(通称:登録情報セキュリティスペシャリスト)(以下、支援士)制度の試験事務、登録事務を行うこととなり、10月24日(月)から登録申請の受付を開始しました。

支援士は、試験合格後、登録簿への登録を受けることにより資格を取得できる登録制の名称独占資格です。IPAは、10月17日(月)の経済産業大臣告示により、本制度の試験事務、登録事務を行うこととなりました。10月24日(月)に、登録が可能な対象者や申請手続き、資格維持の方法などを公表するとともに、登録申請の受付を開始しました。

登録が可能な方は、2017年度以降、春期(4月)及び秋期(10月)に実施予定の「情報処理安全確保支援士試験」(通称:情報セキュリティスペシャリスト試験)の合格者のほか、制度開始から2年間の経過措置として、情報処理技術者試験として実施しておりました旧「情報セキュリティスペシャリスト試験」、「テクニカルエンジニア(情報セキュリティ)試験」の合格者も対象となります。

なお、支援士には、登録後に最新の知識・技能の維持を図るため、IPAが実施する講習の受講が義務付けられています。

支援士が、企業や組織における情報セキュリティ対策の推進力となり、サイバーセキュリティの確保のための取組みに貢献し、今後活躍の場を広げていくことを期待します。

「情報処理安全確保支援士試験」及び制度の詳細については、次のURLをご覧ください。

- ・「情報処理安全確保支援士試験」について

[https://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_04hanni\\_sukiru/\\_index\\_hanni\\_skill.html](https://www.jitec.ipa.go.jp/1_04hanni_sukiru/_index_hanni_skill.html)

- ・「情報処理安全確保支援士」制度全般について

<http://www.ipa.go.jp/siensi/index.html>

### 2. 「CEATEC JAPAN 2016」へ出展

(担当理事(本部長): 川浦、担当部長: 米田)

IPAは、10月4日(火)から10月7日(金)まで幕張メッセ(千葉県千葉市)で開催された「CEATEC JAPAN 2016」に出展しました。IPA展示ブースおよび講演には、4日間で約6,000名の方にご来場いただき、盛況のうちに終了しました。

IPA 展示ブースでは、IoTによる「つながる社会」の到来を見据え、「IoT 製品の安全・安心を実現するためのガイドライン」のご紹介をはじめ、今後の IoT を支える「サイバーセキュリティ人材の育成」など、安全な IoT 利活用を実現するための「サイバーセキュリティ対策」を中心に IPA の活動を紹介しました。

また、我が国のサイバーセキュリティを担う関係機関による取組みをご紹介する特設コーナー「JAPAN CYBERSECURITY」や、近年話題の「つながる自動車（コネクテッドカー）」をモデルとした小型ロボットカーを用いた「つながる自動車のハッキングデモ」の展示・デモンストレーションなどを実施しました。

さらに、IPA 理事長による講演「IoT とサイバーセキュリティの先にあるもの」、IPA セキュリティセンター長がモデレーターを務めたパネルディスカッション「日・米におけるサイバーセキュリティ」などの特別講演を実施しました。

来場者からは「一通りブースを見学したが、このブースに来て収穫があった」「産業系を中心に活動強化が必要。是非とも旗振り役を」「企業を回ってぜひとも講義してほしい。社会人、皆が聞くべき」といったご意見をいただきました。

IPA では、これらのご意見を活かし、今後も積極的に国際的な大規模イベントへの出展を継続していきます。

「CEATEC JAPAN 2016」出展の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/about/event/ceatec2016/index.html>

### 3. 「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017」および「業種編 3 種（金融・保険業、情報通信業、製造業）」を公開

（担当理事（本部長）：川浦、担当所長：松本）

IPA は、10 月 12 日（水）に、ソフトウェア開発に関するプロジェクトデータを収集・分析した「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017」の最新版を公開しました。さらに今回は、「金融・保険業」「情報通信業」「製造業」の 3 業種に特化した「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017 業種編」と白書掲載のグラフデータも同時公開しました。

本白書やグラフデータを利用することで、ソフトウェア開発の見積りや計画策定において業界内での妥当なコストや工数を確認でき、さらには自社の開発プロジェクトデータと比較することで、開発プロセス改善のための定量的マネジメントを行うことができます。

IPA は、今後も中立的立場を活かしたプロジェクトデータの収集・分析結果の提供を通して、ソフトウェア開発現場への定量的マネジメントの定着を促し、日本のソフトウェア開発における信頼性向上と生産性向上に貢献していきます。

「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017」の詳細については、次の URL をご覧ください。

## II. 情報セキュリティ

### **1. 脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」の登録状況 [2016年第3四半期(7月～9月)]**

(担当理事(本部長補佐): 頓宮、担当センター長: 江口)

IPAは、2016年第3四半期(7月～9月)の脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」(ジェイブイエヌ アイ・ペディア)の登録状況を「脆弱性対策情報データベース JVN iPedia に関する活動報告レポート」としてまとめ、10月25日(火)に公開しました。

今期に、脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」日本語版に登録された脆弱性対策情報は1,738件で、2007年4月25日の公開開始からの登録件数は累計63,047件となりました。

脆弱性対策情報データベース「JVN iPedia」の登録状況の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/JVNiPedia2016q3.html>

### **2. ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況 [2016年第3四半期(7月～9月)]**

(担当理事(本部長補佐): 頓宮、担当センター長: 江口)

IPAは、2016年第3四半期(7月～9月)の脆弱性関連情報の届出状況を「ソフトウェア等の脆弱性関連情報の取扱いに関する活動報告レポート」としてまとめ、10月26日(水)に公開しました。

今期の脆弱性情報の届出件数は230件で、内訳はソフトウェア製品に関するものが114件で累計3,295件、ウェブサイトに関するものが116件で累計9,379件でした。これにより、2004年7月の届出受付開始からの累計は12,674件となりました。

ソフトウェア等の脆弱性関連情報に関する届出状況の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/vuln/report/vuln2016q3.html>

### **3. コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況 [2016年第3四半期(7月～9月)]**

(担当理事(本部長補佐): 頓宮、担当センター長: 江口)

IPAは、2016年第3四半期（7月～9月）のコンピュータウイルス・不正アクセスの届出および相談の状況をまとめ、10月27日に（木）に公開しました。

公開内容の概要は、以下のとおりです。

(1) コンピュータウイルス届出状況

今期のウイルス届出件数は544件（前期比 約9%増）でした。不正プログラム検出数は、365,881個（前期比 約118%増）、ウイルス検出数は1,445個（前期比 約14%増）でした。

(2) コンピュータ不正アクセス届出状況

今期の不正アクセス届出件数は19件（前期比 約14%減）でした。

(3) 情報セキュリティ安心相談窓口の相談状況

今期のウイルス・不正アクセス関連の相談件数は4,367件（前期比 約12%増）でした。

コンピュータウイルス・不正アクセスの届出状況および相談状況の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/txt/2016/q3outline.html>

#### 4. サイバー情報共有イニシアティブ（J-CSIP）運用状況 [2016年第3四半期（7月～9月）]

（担当理事（本部長補佐）：頓宮、担当センター長：江口）

IPAは、2016年第3四半期（7月～9月）の「サイバー情報共有イニシアティブ」（J-CSIP<sup>1</sup>）の活動内容をまとめ、10月28日（金）に公表しました。

J-CSIP全体での参加組織数は、今期、ガス業界SIG<sup>2</sup>へ15組織が新たに参加することとなり、72組織から87組織となりました。

今期の活動では、参加組織より218件の情報提供を受け、IPAによる分析を経て、参加組織へ32件の情報共有を行いました。

J-CSIPの運用状況の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/J-CSIP/index.html>

<sup>1</sup> J-CSIP: Initiative for Cyber Security Information Sharing Partnership of Japan

<sup>2</sup> SIG: Special Interest Group の略。J-CSIPでは、情報共有を目的に業界を軸にした組織をグループ化しており、SIGと呼んでいる。

## 5. サイバーレスキュー隊（J-CRAT）活動状況 [2016 年度上半期]

（担当理事（本部長補佐）：頓宮、担当センター長：江口）

IPA は、サイバーレスキュー隊（J-CRAT<sup>3</sup>）の 2016 年度上半期の活動について報告書を 10 月 28 日（金）に公表しました。

2016 年度上半期に「標的型サイバー攻撃特別相談窓口」に対して寄せられた相談件数は 269 件でした。このうち、レスキュー支援へ移行したものは 68 件、オンサイト支援を行った事案数は 12 件でした。

レスキュー支援へ移行した 68 件の組織ごとの内訳は、独立行政法人 6 件、社団・財団法人 19 件、企業 27 件、大学 6 件、地方自治体 3 件、その他公共機関等 7 件でした。

サイバーレスキュー隊活動状況の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/J-CRAT/index.html>

## 6. 重要なセキュリティ情報（10 月）

（担当理事（本部長補佐）：頓宮、担当センター長：江口）

IPA では、インターネットを使っている多くの利用者が影響を受けるセキュリティ対策情報を対象に「重要なセキュリティ情報<sup>4</sup>」として公開しています。

「重要なセキュリティ情報」とは、放っておくと不正アクセスやデータが盗まれるなどの危険性が高いセキュリティ上の問題と対策についてお伝えするもので、IPA 情報発信では 2013 年 12 月より広く啓発するため記載しています。発信情報から、ご自身の PC やシステムへの影響を判断の上、速やかな対策を心がけてください。

10 月は、「緊急」3 件、「注意」3 件を公開しました。

重要なセキュリティ情報の詳細については、次の URL をご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/security/announce/alert.html>

---

<sup>3</sup> J-CRAT: Cyber Rescue and Advice Team against targeted attack of Japan

<sup>4</sup> 「重要なセキュリティ情報」は、次の基準で対策の緊急度を表しています。

「緊急」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報でかつ、当該問題を悪用した攻撃が実際に行われているケース。

「注意」・・・影響度の高いセキュリティ上の問題があると公表された情報又は、当該問題を悪用した攻撃が行われる可能性があるケース。

### Ⅲ. ソフトウェア高信頼化

#### 1. SEC 特別セミナー「IoT 時代に向けたシステム開発における課題と備え ～システムズエンジニアリングのベストプラクティス事例～」を開催

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、SEC 特別セミナー「IoT 時代に向けたシステム開発における課題と備え ～システムズエンジニアリングのベストプラクティス事例～」を 10 月 24 日 (月) に慶應義塾大学 三田キャンパス (東京都港区) で、10 月 26 日 (水) に大阪大学中之島センター (大阪府大阪市) で開催しました。

本セミナーは、国内の IT 企業の経営者、開発マネジメント層、品質・プロセス管理者を対象に、ネットワークを通じて多様・複雑に連動するシステムの開発に有効とされる「システムズエンジニアリング」の普及を図るためのものです。ドイツ・フラウンホーファー研究機構 実験的ソフトウェア工学研究所 (IESE) より 2 名の研究者をお招きし、欧州企業におけるシステムズエンジニアリングの先進適用事例についての分析結果を紹介いただいたほか、国内の有識者によるシステムズエンジニアリングの最新動向などに関する講演やパネルディスカッションを実施しました。

当日は 2 日間合わせて約 300 名の方に受講いただき、受講者からは「先端に行くドイツの状況がデータとともにまんべんなくレポートされており分かり易かった」「興味深く、個々の事例や技術について更に知りたいと思った」といったご意見をいただきました。

IPA では、これらのご意見を活かし、今後も IoT 時代のシステム開発に有効な先進技術の国内への普及を継続していきます。

SEC 特別セミナーの詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161024.html> (東京開催)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161026.html> (大阪開催)

#### 2. 【改訂版】「組込みソフトウェア開発向けコーディング作法ガイド ESCR [C++言語版] Ver. 2.0」を公開

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、10 月 18 日 (火) に「組込みソフトウェア開発向けコーディング作法ガイド ESCR [C++言語版]」の改訂版を公開しました。

本書は、自動車や家電製品をはじめとする多くの製品の組込みソフトウェア開発において、読みやすくエラーが発生しにくいソースコードを書くために、コーディングする際の注意事項やノウハウをルール集としてまとめたものです。今回は、ISO

標準として広く普及している C++11<sup>5</sup>/C++14<sup>6</sup>に準拠するように改訂しており、海外の企業や開発者と連携して開発する際のルールの一貫化という観点から英語版も同時公開しております。

IPA は、本書の普及を通して、安全・安心な組み込みソフトウェアを効率的に開発できる環境づくりに貢献していきます。

【改訂版】「組み込みソフトウェア開発向けコーディング作法ガイド ESCR [C++言語版] Ver. 2.0」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20161018.html>

### 3. 「組み込みシステムシンポジウム 2016 (ESS2016)」に出展

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当所長 : 松本)

IPA は、10 月 20 日 (木) から 10 月 22 日 (土) にかけて早稲田大学グリーン・コンピューティング・システム研究開発センター (東京都新宿区) にて開催された「組み込みシステムシンポジウム 2016 (ESS2016)」に出展しました。

本イベントは、一般社団法人情報処理学会 組み込みシステム研究会の主催によるもので、今回は「新時代の組み込みシステム」をテーマとして、1 日目は学生、技術者、研究者によるロボット競技会が行われ、2~3 日目は研究発表や産学の有識者による講演が行われました。

IPA は本イベントで、「IoT 時代のリスクに備えよう! ~「つながる世界の開発指針<sup>7</sup>」より~」というテーマで講演を行い、IoT/GPS をテーマとしたパネルディスカッションではパネリストを務めたほか、展示コーナーでは「つながる世界の開発指針」をはじめとする IoT や組み込みシステムに関連する最新の取組み状況の紹介を行いました。

講演およびパネルディスカッションには、のべ約 60 名の方にご参加いただき、参加者からは「魅力的なコンテンツが多かったので、今後も期待する」といったご意見をいただきました。

IPA では、これらのご意見を活かし、今後も IoT 時代に重要性を増す組み込みシステムの高信頼化・セキュリティに関する啓発活動を継続していきます。

「組み込みシステムシンポジウム 2016 (ESS2016)」の詳細については、次の URL をご覧ください。

<http://www.ipsj.or.jp/kenkyukai/event/s-ess2016.html>

<sup>5</sup> C++11 : C++言語の ISO 標準 (ISO/IEC 14882:2011 Programming Language-C++) の略称

<sup>6</sup> C++14 : C++言語の ISO 標準 (ISO/IEC 14882:2014 Programming Language-C++) の略称

<sup>7</sup> IPA が 2016 年 3 月に公開した、自動車や家電等のさまざまなモノがインターネットを通じて相互に接続する「IoT 社会」におけるセーフティ・セキュリティ等のリスクに対処するための業界横断的な開発指針。

<http://www.ipa.go.jp/sec/reports/20160324.html>



#### 4. 「FROM沖縄セミナー『IoT セキュリティの最新動向とビジネスチャンス』」にて講演

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、10月6日(木)に沖縄県立博物館・美術館(沖縄県那覇市)で行われた「FROM沖縄セミナー『IoTセキュリティの最新動向とビジネスチャンス』」にて講演しました。

本セミナーは、沖縄県の主催で、企業経営者の方、IT技術担当の方、IoTセキュリティへ関心をお持ちの企業の方、IT業界への就職を検討している学生の方などを対象に行われました。IPAは、「IoT時代における開発者に認識して欲しいこと」～つながる世界の開発指針より～というテーマで講演し、IoT時代ならではのセキュリティ・セキュリティ上の脅威やリスクについて解説すると共に、製品を開発する際に考慮して欲しい「つながる世界の開発指針」の概要を紹介しました。

当日は52名の方にご参加いただき、参加者からは「IoTの動向も踏まえ解説していただいたので有意義だった」「国際規格やSECの取り組みを知ることができ勉強になった」「ログの取得の重要性やセキュリティ対策の早く対応する事の重要性が理解できた」といったご意見をいただきました。

IPAでは、これらのご意見を踏まえて、今後もIoT時代に求められる安全・安心な製品の開発を推進していくために各地域で啓発活動を継続していきます。

「FROM沖縄セミナー『IoTセキュリティの最新動向とビジネスチャンス』」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://from-okinawa.org/news/2852>

#### 5. 「第3回CCDS検証技術セミナー」にて講演

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、10月7日(金)に沖縄県男女共同参画センター(沖縄県那覇市)で行われた、一般社団法人重要生活機器連携セキュリティ協議会(CCDS)主催の「第3回CCDS検証技術セミナー」にて講演しました。

本セミナーは、CCDSの会員である自動車、金融機器、家電製品などの生活機器のセキュリティ確保に取り組む企業の方を対象に、IoT時代において重要性の高まるセキュリティ検証技術の最新動向を紹介するものです。IPAは、「つながる世界の開発指針」をひも解く～IoT機器・システム開発における重要ポイントを解説～というテーマで講演を行い、IoTの特徴と開発指針の内容について解説しました。

当日は32名の方にご参加いただき、参加者からは「これから広がるネットワーク社会に出てくるであろう更なる問題の対策法を考えさせられる内容だった」「知らなかったことを沢山知ることができたので、是非、次も参加したい」といったご意見をいただきました。

IPAでは、これらのご意見を踏まえて、今後もIoT時代に求められる安全・安心

な製品の開発を推進していくために各地域で啓発活動を継続していきます。

## 6. 「JISA Digital Masters Forum 2016」にて講演

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、10月21日(金)に東京コンベンションホール(東京都中央区)で行われた、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)主催の「JISA Digital Masters Forum 2016」にて講演しました。

本イベントは、経営者と現場のエンジニアの課題共有・情報交換の場として、講演、ワークショップ、研究発表を行うもので、今回は「Digital Business in Action～いまこそ、ソフトウェアで「!(革命)」を～」というテーマの下で、IoT、ビッグデータ、人工知能に関する講演が多数行われました。IPAは、「IoT時代のリスクの認識と製品開発時の重要ポイントを解説～「つながる世界の開発指針」の策定の背景と実践に向けて」、「ベンチマークデータの分析に基づく品質改善マネジメントの実践」という2つのテーマで講演しました。

当日は2セッション合わせて約110名の方にご参加いただき、参加者からは「物事が良くなることばかりを考えがちだが、それによるリスクの発生と対策について考えることの大切さを実感した」「IoTに関して学んでいきたい」といったご意見をいただきました。

IPAでは、これらのご意見を踏まえて、今後も経営者層を含む企業の方への情報提供・啓発活動を継続していきます。

「JISA Digital Masters Forum 2016」の詳細については、次のURLをご覧ください。

<http://www.jisa.or.jp/event/jdmf/tabid/2019/Default.aspx>

## 7. SEC セミナー開催報告(10月)および開催案内(11月)

(担当理事(本部長):川浦、担当所長:松本)

IPAは、事業成果を広く普及・啓発することを目的としたセミナー、ソフトウェア・エンジニアリングに関する国内外の最新動向などを紹介する特別セミナーをそれぞれ実施しています。

10月は、次の日程で実施しました。

- ・「IPA・QUEST・FITCO IoT 共催セミナー in 九州 ～IoTで築く九州デジタルイノベーション～」(10月3日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161003.html>

- ・「共通フレーム解説とプロセス改善推進セミナー～ソフトウェア開発プロセスにおける組織の課題を見つけて改善するために～」(10月19日)

<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161019.html>

- ・「IoT時代のセキュリティ設計のポイント ～これからのセーフティはセキュリティ設計で守る～」(10月21日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161021.html>
- ・「はじめての STAMP/STPA ～システム理論に基づく新しい安全性解析手法～」(10月21日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161021-02.html>
- ・「SPEAKーIPA 準アセッサ育成セミナー (Basic) ～プロセス・アセスメント研修 (ベーシック)～」(10月27日～10月28日 (2日間コース))  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161027-28.html>

11月は、次の日程で開催を予定しています。

- ・「ソフトウェア開発データ白書 2016-2017」の紹介とその活用方法 ～新規分析項目を中心とした最新版データ白書の紹介と具体的な活用方法の解説～」(11月2日)  
<http://sec.ipa.go.jp/seminar/20161102.html>
- ・「ET2016/IoT2016 併催：IPA セミナー」(11月17日～11月18日 (全6セッション))  
<http://www.ipa.go.jp/sec/seminar/20161117.html>

## IV. IT人材の育成

### 1. 「ITpro EXPO 2016」への出展

(担当理事 (本部長) : 川浦、担当センター長 : 秋元)

IPAは、ITにかかわる企業等への人材育成施策促進のため、10月19日(水)から10月21日(金)に開催された「ITpro EXPO 2016」に出展し、「i コンピテンシディクショナリ」(以下、iCD)の紹介を行いました。

会場内に併設されたセミナールームでは、「5年後に生き残れるITベンダーとIT人材の条件」をテーマに、IPAと日経BPイノベーションICT研究所とのコラボレーションセミナーを開催しました。また、展示ブースでは、「人材確保と育成」、「組織改革」、「社員の自己成長変革」の3テーマでブースプレゼンテーションを実施するとともに、iCDの説明を行いました。

当日は、コラボレーションセミナー、展示ブースともに多くの方にご来場いただき、「自社でのiCDの活用を検討したい」といったご意見をいただきました。

IPAでは、これらのご意見を今後の事業に活かすとともに、引き続き積極的な情報提供に努めていきます。

「ITpro EXPO 2016」出展の詳細については、次のURLをご覧ください。

<https://www.ipa.go.jp/jinzai/event/20160920.html>

## 2. 平成 28 年度秋期「情報処理技術者試験」を実施

(担当理事(本部長): 川浦、担当センター長: 高橋)

IPA は、平成 28 年度秋期「情報処理技術者試験」を 10 月 16 日(日)に実施しました。

合格発表は、「情報セキュリティマネジメント試験」及び「基本情報技術者試験」が 11 月 14 日(月)正午、その他の試験が 12 月 16 日(金)正午の予定です。

平成 28 年度秋期「情報処理技術者試験」の合格発表に関するスケジュールは、次の URL をご覧ください。

[http://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_00topic/topic\\_20161016\\_schedule.html](http://www.jitec.ipa.go.jp/1_00topic/topic_20161016_schedule.html)

なお、当試験の「問題冊子・解答例」については、次の URL をご覧ください。

[http://www.jitec.ipa.go.jp/1\\_04hanni\\_sukiru/mondai\\_kaitou\\_2016h28.html](http://www.jitec.ipa.go.jp/1_04hanni_sukiru/mondai_kaitou_2016h28.html)

問合せ先 独立行政法人情報処理推進機構 戦略企画部 企画・調査G 笛木・野村 〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目 28 番 8 号 文京グリーンコートセンターオフィス TEL : 03-5978-7503 E-mail : spd-plan@ipa.go.jp
---